

市民環境部環境政策課

1 米子市環境マネジメントシステム（ISO14001）構築・運用・認証取得

米子市の事務事業による地域の環境や地球環境に与える影響を可能な限り低減するために、本市の本庁を対象に国際規格である環境マネジメントシステム（ISO14001）を構築・運用を開始し、認証取得した。

○平成16年度における主な取組状況

年 月 日	内 容
平成16年4月23日 ～4月27日	米子市環境マネジメントシステム文書作成（マニュアル、要領、手順書、管理調査文書、環境記録）
平成16年4月30日	米子市環境マネジメントシステム文書配布
平成16年5月1日	ISO14001運用開始
平成16年5月17日	ISO14001運用に係る特別職員研修実施 ISO14001運用に係る管理職員研修実施（西部広域行政管理組合事務局長及び消防局長を除く庁議メンバーが対象）
平成16年5月17日 ～18日	ISO14001運用に係る管理職員研修実施（本庁の課長級職員を対象に2回に分けて実施）
平成16年5月17日 ～19日	ISO14001運用に係る一般職員研修、嘱託職員及び臨時職員研修実施（本庁の全職員が対象で10回に分けて実施）
平成16年5月24日	ISO14001運用に係る一般職員研修、嘱託職員及び臨時職員研修実施（本庁内の運用研修未受講者を対象に実施）
平成16年5月24日 27日	内部環境監査委員養成研修（本庁の課長級職員を対象に2回に分けて実施）
平成16年7月13日	予備審査（審査登録機関：日本環境認証機構 JACO）
平成16年8月4日 6日	内部環境監査（内部環境監査委員により各課相互に監査を受ける）
平成16年10月7日	市長によるシステムの見直しを実施
平成16年10月12日 13日	初動審査（審査登録機関：日本環境認証機構 JACO）
平成16年11月17日 18日	本審査（審査登録機関：日本環境認証機構 JACO）
平成16年12月8日	認証登録
平成16年12月21日	認証書授与式
平成17年1月11日～20日	内部環境監査（内部環境監査委員により各課相互に監査を受ける）
平成17年2月16日	平成17年度に向けて市長によるシステムの見直しを実施

2 アジア・太平洋環境会議（エコアジア2004）の開催及び関連事業

(1) アジア・太平洋環境会議（エコアジア2004）の開催

環境省が主催の、アジア・太平洋環境会議（エコアジア2004）が6月19日、20日米子コンベンションセンターで開催された。この会議は、アジア・太平洋地域の各国の環境大臣等が環境分野での協力推進するための意見交換がなされた。この機会に各国大臣等に米子の豊かな自然や文化をPRするとともに、米子市水選局の水を提供した。

また、米子市長の主催のレセプションを6月20日に開催し、各国大臣等と地元環境団体等と交流を図った。

(2) エコアジア2004関連事業の開催

エコアジア2004の開催を契機として、市民の環境への関心が高まる中、県、市及び市民団体等様々な関連事業やイベントが開催された。

① 中海こども水辺サミット（主催：県、開催日：6月5日）

中海周辺に住む小学生による環境活動、学習成果発表章青年海外協力隊員が世界の環境問題を話し、環境について皆で考えた。

② 中海周辺クリーン大作戦（主催：県・市、開催日：6月5日）

中海周辺の様々な場所で、地域住民・環境保全団体が一体となって美化清掃活動を行った。米子市においては、6月5日に湊山公園親水護岸で約400人の参加者を得て実施した。

③ 環境関連官民対話イベント（主催：鳥取環境大学、開催日：6月18日）

産業界、各国環境大臣、学会代表者でアジア・太平洋地域の環境政策促進のためパネルディスカッションを実施し、米子市長も地元の環境保全等の実施状況を報告し、本市の環境保全対策等をアピールした。

④ 環境教育シンポジウム（主催：県、開催日：6月18日）

高校生等による環境の取組の発表。環境副大臣、各国環境大臣、教育関係者で、持続可能な社会実現のためには様々な主体による環境の取組みが重要であり、環境問題の解決には環境教育が不可欠であるとの意見交換を実施した。

⑤ ライトダウンイベント（主催：各種環境保全団体等、開催日：6月19日～21日）

一斉消灯、キャンドルナイト等を通して、地球温暖化防止への取組みについて考えてもらった。

⑥ よなごし環境フェア（主催：米子市）

環境を守る意識の高揚を図り、「交流・ふれあい」をテーマで、各国環境大臣等をおもてなしの心で迎えた。

3 米子市環境審議会の開催

環境の保全及び創造に関する基本的な事項を調査・検討することを目的とした米子市環境審議会（米子市環境基本条例第19条）を平成16年12月17日に開催し、美保飛行場拡張整備事業に係る環境影響評価準備書に対する意見をいただくとともに、第4期中海に係る湖沼水質保全計画策定状況等を報告した。

4 国指定中海鳥獣保護区の更新及び同特別保護地区の指定

中海は、コハクチョウをはじめ多くの渡り鳥の越冬地、休息地等であることから、国指定中海鳥獣保護区（彦名干拓地を除く）が11月1日に更新された。期間は、平成16年11月1日から10年間。総面積、8,724ha。これと同時に、米子水鳥公園をはじめ中海の水域が同特別保護地区（総面積：8,043ha）の指定を受け、これによりラムサール条約登録湿地の要件が整った。また、彦名干拓地は、11月1日に鳥取県銃猟禁止区域の指定を受け、期間は10年間となっている。

5 公害防止対策

(1) 水質

新加茂川（深浦、美吉、前田橋）、法勝寺川（大袋、戸上）、小松谷川（青木）

定点測定 6か所、6回 延36回 大沢川8回、野本川4回、精進川4回

(2) 悪臭

ア 事業場の悪臭採取 年19回

イ 事業場数 8か所

*測定については下水道部施設課環境検査室

6 騒音規制法・振動規制法に基づく届出数

(1) 特定施設に関するもの

- ・ 騒音（設置届、変更届等を含む。） 1件
- ・ 振動（ 〃 ） 0件

(2) 特定建設作業に関するもの

- ・ 騒音 23件
- ・ 振動 18件

7 県公害防止条例に基づく届出数

- ・ 騒音関係特定施設（設置届、変更届等を含む。）
0件（新設0件、変更0件）

8 苦情処理件数等

(1) 苦情の受理及び処理状況

苦情の種類		大気汚染	水質汚濁	騒音	振動	悪臭	土壌汚染	地盤沈下	電波障害	不法投棄	害虫発生	その他	合計
取扱件数	受理	20	16	12	2	9				6	5	29	99
	処理	19	16	12	2	9				6	5	29	98

(2) 土地等の適正管理指導 指導件数 32件

(3) 油流出事故対応 対応件数 11件

9 主な環境保全事業

(1) 中海水質汚濁状況の調査研究委託

委託先 米子工業高等専門学校 物質工学科

(2) 中海水質汚濁調査奨励事業

実施団体 中海海況研究会
赤貝を食う会

(3) 第30回環境月間行事（6月1日～6月30日）

ア 環境作文の募集

環境作文の募集と表彰

市内小・中学生を対象に環境美化に関する作文を募集した。

入賞者数 金賞 小学生2人 中学生2人
銀賞 〃 2人 〃 3人
銅賞 〃 2人 〃 3人

イ よなごし環境フェア 2004

一般市民を対象に、環境問題に気づき、考えて、ライフスタイルを見直すきっかけとなるような啓発イベントを実施した。

実施日 6月20日（日）

実施場所 米子市文化ホール、中海（サイエンスクルーズ）等

実施内容 リサイクルエ作、新エネルギー展示、サイエンスクルーズ等の各種環境関係の催し

参加人数 延べ2,000人

(4) 中海湖上観察学習会

中海を船上から見ることにより、中海の汚濁状況を肌で感じてもらい、水質浄化対策の意識の高揚を図ることを目的として実施した。

実施日 8月10日(木)

参加者 小学生5,6年生 87人 引率教員 23人

講師 太田富雄、田平敏雄、湯原輝子

(5) 中海写真展

中海を身近なものとしてとらえ、その保全に向けて意識を高めることを目的として写真を募集し、『よなごし環境フェア2004』の一環として中海写真展を開催した。

出品者数 一般の部 48人 中学生の部 8人

出品数 一般の部 122点 中学生の部 8点

入賞音数 一般の部 最優秀賞 1点 優秀賞 2点 入選 12点

中学生の部 最優秀賞 1点 優秀賞 1点 入選 3点

(6) 米子市環境美化活動奨励

環境美化活動の高揚を図るため、地域の環境美化に功労のあった団体又は個人(8件)に対し感謝状を贈呈した。

○期日・場所 11月5日(金) 米子市役所401会議室

(7) 鳥取県を美しくする運動月間の実施

ア 期間 9月1日～10月31日

イ 清掃活動

(7) 奉仕活動実施団体数 2団体

(1) 参加延べ人数 39,276人

(8) 環境パトロール車の運行状況

ア 運行内容

運行回数	苦情調査	油流出事故	その他(パトロール等)
319回	133回	18回	168回

(9) こどもエコクラブ

次世代を担うこどもたちが、地域において、主体的に環境学習及び環境保全活動に取り組み、将来にわたる環境の保全への高い意識を醸成することを支援するため、環境省が全国に「こどもエコクラブ」を発足させた。

市内参加クラブ11クラブ(福生東小、住吉小、河崎小、湊山中、加茂中、地域参加のクラブ、公募制クラブ4クラブ)

関係行事 親子ホテル観察会

実施日 6月10日(木) 14日(月)

実施場所 島根県大東町

参加人数 35人

関係行事 サマーエコキャンプ in 日南邑

実施日 8月7日(土)～8月8日(日)

実施場所 日南町 ふるさと日南邑 ファームイン

参加人数 52人

関係行事 水鳥観察会
 実施日 11月20日(土)
 実施場所 米子水鳥公園
 参加人数 103人
 関係行事 米子市こどもエコクラブ交流会
 実施日 2月6日(日)
 実施場所 米子市児童文化センター
 参加人数 103人

(10)水生生物調査体験教室

水辺に触れ、体験することで、川に対する興味、関心度の向上を図ることを目的として実施した。

実施日 7月23日(金)
 実施場所 日野川河口
 参加者等 参加者…こどもエコクラブ会員 54人
 サポーター 6人

主催…国土交通吉日野川河川事務所、米子市(環境政策課)

(11)エコクッキング講習会の開催

環境にやさしい食生活、環境にやさしい料理方法を通じて環境のことを考えることを目的として実施した。

開催事業名	実施日	実施場所	参加人数	備考
・よなごし環境フェア 2004 [エコクッキングコーナー]	6月20日(日)	米子市文化ホール	200人	
・学校及び地域単位のこどもエコクラブ	8月29日(日)	彦名公民館	12人	計3回
〃	10月1日(金)	河崎公民館	17人	
〃	2月8日(火)	往吉公民館	15人	

(12)環境講演会の開催

テーマ 「地域にねざした環境学習の推進について」

主催：米子市 共催：NPO法人こども環境活動支援協会

実施日 平成17年3月2日(水)
 実施場所 米子コンベンションセンター
 基調講演 小澤 紀美子(東京学芸大学教授)
 事例発表 長手 聖美(NPO法人こども環境活動支援協会)
 向井 徳子(大栄サービス株式会社)
 北尾 孝志(中国電力株式会社)
 参加人数 180人

10 中海の浄化対策

(1)米子市中海水質保全推進委員会

ア 構成 委員長(助役)1人 委員(関係部長)8人
 幹事(関係課長)20人
 イ 委員会開催 1回
 ウ 幹事会開催 1回
 エ 委員会の報告及び資料配布

(2)生活排水対策啓発パンフレットの配布

(3)生活排水対策講習会の開催

8回開催 参加人員 延べ158人

1.1 生活排水対策の推進

(1)生活排水対策推進指導員制度の実施

ア 指導員3人

イ 生活排水対策推進指導員名

赤井正子

山田悦子

渡部 淳 (H16.5.31付退任)

(2)生活排水対策推進計画の実施

米子市の生活排水対策重点地域(加茂川・旧加茂川、大沢川流域のうち下水道処理区域を除いた地域)における生活排水対策の推進を図るための基本計画を平成5年に策定し、平成17年3月に見直しを行い、その計画に基づいて事業を継続実施した。

1.2 環境美化推進団体の育成

(1)米子市環境をよくする会

ア 構成 36人(団体代表者)

イ 会長 平野昭二

ウ モデル町区指定 26町区(各校区より1町区)

エ 各種団体の育成 5団体

オ 研修会の開催

(ア)役員の見察研修(16.11.16)

リサイクル関連施設見学(株エコマ商事、(有)山陰エコシステム)

(イ)代表者研修会(17.2.15)

講演会 「コップの向こうに」

講師 田中通雄(米子市水道局長)

(ウ)環境講演会への参加(17.3.2)

講演会 「地域にねざした環境学習の推進について」

講師 小澤紀美子(東京学芸大学教授)

(エ)環境美化啓発について

環境美化啓発立看板の作製

カ 台所用ろ過袋の斡旋

取扱数量 18,435袋

キ 市内一斉清掃事業(春秋2回)

4月18日(日)参加人数 37,674人

10月3日(日)参加人数 38,572人

(2)加茂川を美しくする運動連絡協議会

ア 会長 高橋行真

イ 指導員 香川 貢、鹿島恒男

安藤 享、石橋規朗

ウ 加茂川一斉清掃(春秋2回)

4月18日(日) 参加人数 661人

10月24日(日) 参加人数 704人

エ 花壇整理 花壇補修、つつじ補植

オ 研修会の開催

(ア)町区代表者研修会 (H16.11.26)

加茂川視察、県土整備局との意見交換会

(イ)役員研修会 (H17.3.1)

日野川の源流と流域を守る会との意見交換会

1.3 米子市庁内グリーンオフィス活動

(1)環境にやさしい米子市役所率先実行計画の策定

地球環境問題に代表される、大量生産、大量消費、大量廃棄型の社会経済活動や生活様式に起因する環境問題に対処するため、市は一事業者、一消費者としての立場で率先して環境に配慮した行動を示す必要がある。

市が、省エネルギー、省資源等の環境保全活動を実行することで環境への負荷を低減するとともに、市民及び事業者の自主的な取組を促進する目的で「環境にやさしい米子市役所率先実行計画」を策定した。なお、本計画は、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく実行計画を含んでいる。

計画期間 平成13年度～17年度

対象範囲 市のすべての機関が実施する事務事業

削減目標 温室効果ガス及び温室効果ガス排出に係るエネルギー等を8%削減

(2)点検実施概要(平成16年度第1四半期～第3四半期)

水道、下水道及び家庭ごみ収集事業等を除く取組実績

取組項目		実績	基準年比削減(増加)率	基準年
温室効果ガス総排出量(二酸化炭素換算量)		2,373 トン	5.6%削減	平成11年度
主な排出源の内訳	電 気	3,817 千kwh	5.6%増加	
	水 道	255,018 m ³	1.6%増加	
	都 市 ガ ス	296,032 m ³	15.9%削減	
	公 用 車 用 ガ ソ リ ン	45,796 リットル	0.7%削減	
印刷・コピー用紙購入量		43,975 kg	8.4%削減	平成12年度
可 燃 ご み		98,502 kg	6.1%削減	
不 燃 ご み		15,600 kg	4.5%増加	

《 一般廃棄物の処理 》

1.4 分別収集の推進

平成9年度から実施した分別収集の定着を図るとともに、指定された方法での持ち出しについて啓発を行った。

(1)関係諸団体等に対する説明会の実施

ア 説明会の実施

(ア)ごみの分別が不十分なため、分別方法等の説明会開催の要請があった自治会に対し、説明会を実施した。

(イ)各種団体での研修会を行った。

(2)リサイクル推進員及びリサイクル推進協力員に対する研修会

ア 平成16年4月1日に委嘱した、リサイクル推進員に対し、研修会を行った。

イ 平成16年4月1日に委嘱した、リサイクル推進協力員に対し、新任研修会を行った。

(3)「広報よなご」等による啓発

ア 「平成17年度 ごみ分別収集カレンダー」を作成し、各世帯に配付した。

イ 「広報よなご」によりごみの分別方法等について周知を図った。

(4)分別に対する啓発

ア ごみ分別の徹底及び排出マナーの向上並びに収集作業時の安全性確保の面から、集積場にごみを持ち出す際に排出ルールを守られていないものについて、イエローシールを貼り付ける等の方法により、指導・啓発した。

1.5 ごみ減量化の推進

より一層のごみの減量を目的として、啓発・指導を行った。

(1)リサイクルフェア・環境フェアにおいて、ごみの減量化・資源化の啓発を行った。

(2)ごみの種類により、排出方法の徹底を図った。

(3)ごみを多量に排出する事業所に対し、自己処理あるいは、直接処理施設に搬入するよう、指導した。

1.6 清掃指導及び廃棄物の特別処理

環境事業課と協力し、市内を定期的にパトロールするとともに、投棄者不明な不法投棄された廃棄物を処理した。

(1)パトロールの実施

パトロール車により、定期的に全市のパトロールを実施した。

(2)不法投棄物処理

ア 海岸付近、山林等を重点的に、不法投棄者の調査を実施し、投棄者不明な不法投棄された廃棄物を処理した。

イ 長年にわたり、不法投棄されていた産業廃棄物等の一部を処理し、周辺地域の衛生及び美観の回復を行った。

ウ 家電リサイクル法の施行に伴い、収集対象外となった家電4品目（テレビ、エアコン、冷凍・冷蔵庫、洗濯機）を処理した。

テレビ158台、エアコン12台、冷凍・冷蔵庫 19台、洗濯機 13台

1.7 ごみの持ち出しステーション及び収集路線の調整

環境事業課と協力し、市内各地区のごみ持ち出しステーション及び収集路線について、調整を行った。

(1)ごみ持ち出しステーションの新設及び変更

	新 設	廃 止	移 動
ア 可燃物	13件	0件	10件
イ 不燃物及び資源物	11件	1件	5件
ウ 可燃物、不燃物及び資源物	98件	4件	19件
エ 資源物	1件	0件	0件

(2)収集路線の調整

公共工事等に伴う路線変更 76件

18 特別収集

(1) 年末の特別収集

年末の休日に、可燃ごみの特別収集を実施した。

平成16年12月30日 月・木コース

平成16年12月31日 火・金コース

(2) ハッピーマンデーの特別収集

ごみの収集コースごとの収集回数の不均衡を是正するため、海の日（7月の第3月曜日）、敬老の日（9月の第3月曜日）、体育の日（10月の第2月曜日）、成人の日（1月の第2月曜日）の4日間の月曜日（ハッピーマンデー）の特別収集を開始した。

ア 特別収集するごみの区分

- ・ 可燃ごみ
- ・ 缶・びん類及び発泡スチロール等

19 ごみ袋のあっせん及び協力店による販売

本市の推奨するごみ袋（1袋20枚入り）について、自治会を通じてあっせんするとともに、販売協力店により販売した。

(1) 販売数量

ア 有料あっせん 65,527袋

イ 市内の百貨店・スーパー等の協力店による販売 77,988袋

20 米子市廃棄物減量等推進審議会の開催

「米子市廃棄物の処理及び清掃に関する条例」第9条の2に基づき、一般廃棄物の減量及び適正な処理を図るための、審議会を開催した。

(1) 審議事項 一般廃棄物処理計画の変更について（許可による木くずの処理の実施について）

(2) 開催日 平成16年11月26日

21 ごみ減量化及び資源化対策事業

(1) 資源ごみ回収運動推進事業奨励金交付事業

一般家庭等から排出される資源ごみの再利用を促進し、廃棄物の分別収集を目的として、資源ごみ回収運動推進団体の回収実績に応じて奨励金を交付した。

推進団体	回収量					奨励額	実施回数
	古紙類	空きびん類	空びんケース類	金属類	その他		
72団体	753,021kg	27,595本	481個	25,612kg	390kg	3,928,782円	215回
奨励単価	1kg当り 5円	1本当り 3円	1個当り 6円	1kg当り 3円	1kg当り 3円		

(2) 家庭用生ごみ処理容器購入費補助金交付事業

一般家庭から排出される、生ごみの自家処理を促進することにより、ごみの分別意識の向上及びごみの減量化を図るため、1家庭1基を限度として購入者に対して、補助金を交付した。

補助対象基数	補助単価	補助金額
9基	3,000円	27,000円

2.2 一般廃棄物の収集運搬（旧米子市区域分）

環境事業課（直営）と委託業者により、一般家庭ごみの収集運搬を行った。

(1)可燃ごみ	50,977,660kg
(2)不燃ごみ及び不燃性粗大ごみ	4,451,200kg
(3)発泡スチロール等	290,280kg
(4)資源ごみ（缶・びん類）	1,974,860kg
(5)ペットボトル	274,280kg
(6)再利用びん	82,044本
(7)古紙類	6,409,520kg
(8)有害ごみ	69,586kg
(9)家電4品目（事業所）	3,310kg

※リサイクルプラザ搬入台数合計 エアコン 82台、テレビ 428台、冷凍・冷蔵庫 0台、洗濯機 115台

2.3 処理困難物等の処理

環境事業課と協力し、市道等に放置あるいは、一般家庭から米子市クリーンセンターに持ち込まれた動物の死体及び一般家庭から持ち込まれたガレ平等の処理を行った。

(1)動物死体	41件
(2)ガレキ類	4.01トン

2.4 し尿及び浄化槽汚泥の収集運搬実績

(1)環境事業課（直営）収集実績

市内16箇所の公衆便所のし尿を1台の車両で収集した。

稼働日数 37日 収集量 34,690ℓ

(2)許可業者収集実績

直営収集以外のし尿及び浄化槽汚泥について収集した。

	し尿及び浄化槽汚泥収集車	浄化槽汚泥収集車	合計台数
(有)みつわ衛生社	6台	1台	7台
(有)米子清掃	5台	2台	7台
(有)いけまつ環境	2台	1台	3台
(有)かたぎや	2台	-	2台
(有)二宮清掃	3台	-	3台
(有)いづはら	3台	2台	5台
(有)富士衛生	2台	-	2台
計	23台	6台	29台

(3)し尿及び浄化槽汚泥投入量

施設名	投入量(ℓ)			投入割合(%)
	し尿	浄化槽汚泥	計	
米子浄化場	19,842,700	18,465,100	38,307,800	94%
白浜浄化場	1,769,325	693,235	2,462,560	6%
計	21,612,025	19,158,335	40,770,360	100%

2 5 公衆便所清掃

市内4箇所の公衆便所内の清掃業務を委託により実施した。

2 6 産業廃棄物処理施設等の設置に伴う事前協議

「鳥取県産業廃棄物の処理に関する指導要綱」に基づき鳥取県から照会のあった産業廃棄物処理施設等の設置に伴う事前協議について、本市関係各課と意見調整し、関係法令に規定する必要手続き及び環境保全上の意見を鳥取県に回答した。 照会件数 6件